

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 まんのう町国際交流協会

1 事業の趣旨・目的

目的：生活に必要な日本語の習得及び生活相談

目標：1) 生活に最低限必要な日本語能力を身に付ける。

2) 異文化適応へのストレスや相談相手がいないことで深刻になっていく悩み、仕事上のトラブルなどさまざまな生活相談に個別に対応できるよう保健士（心理カウンセラー）や行政書士・社労士などの人材を授業講師として組み込んだ授業を行う。

3) 必要に迫られる運転免許取得や、日本語能力検定試験対策などを希望により教材とする。（通信生）

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
6月2日 10:00 ～ 12:00	かりん会館	山下直子 三原一夫 谷祐喜子 サンデリカ様 (富田満夫) 野津シモーネ 竹下陽子 永井恵子 西川亜里	1. はじめに ・文化庁文化部国語 課【日本語教育事 業】概要の説明 ・運営委員紹介 2. 「ここまでできる 日本語講座」につ いて ・講座概要説明 ・授業内容説明 ①通学コース ②通信コース 3. 協議 ・講座内容および学 習意欲維持向上につ いて検討 ・周知方法および周	第1回運営委員会議事録 参照

			知内容検討	
9月9日 10:00 ～ 12:00	かりん会館	山下直子 三原一夫 谷祐喜子 サンデリカ(株) (三好茶治) 野津シモーネ 竹下陽子 永井恵子 西川亜里	1. 第1回運営委員会議事について 2. 「ここまでできる日本語講座」中間報告 ・生徒の実態と授業内容について(通学) ・生徒の実態と授業内容、学習状況について(通信) 3. 協議 ・講座内容および学習意欲維持向上について検討	第2回運営委員会議事録 参照
12月16日 10:00 ～ 12:00	かりん会館	山下直子 三原一夫 谷祐喜子 野津シモーネ 竹下陽子 永井恵子	1. 第2回運営委員会議事について 2. 「ここまでできる日本語講座」完了報告 ・生徒の学習到達度と15回の授業内容について(通学) ・生徒の学習到達度と15回の授業内容について(通信) 3. 協議 ・講座内容について(通学) ・日本語の通信教育について	第3回運営委員会議事録 参照

【写真】



(第 2 回運営委員会の様子)



(第 3 回運営委員会の様子)

3 日本語教室の開催について

① 講座名 ここまでできる日本語教室—通信教室への挑戦

② 開催場所 神野公民館(勤労青少年ホーム)

③ 学習目標

生活に必要な日本語の習得及び生活相談

1)生活に最低限必要な日本語能力を身に付ける。

2)異文化適応へのストレスや相談相手がいないことで深刻になっていく悩み、仕事上のトラブルなどさまざまな生活相談に個別に対応できるよう保健士(心理カウンセラー)や行政書士・社労士などの人材を授業講師として組み込んだ授業を行う。

3)必要に迫られる運転免許取得や、日本語能力検定試験対策などを各個人の希望や日本語習熟度に合わせた教材とする。(通信生)

④ 使用した教材・リソース

ジェイブリッジ、オリジナル教材

⑤ 受講者の募集方法

町内各公民館にポスター掲示、町内スーパーマーケットにポスター掲示、実習生受け入れ企業にちらし送付、外国人労働者派遣会社にちらし送付、県内市役所町役場、県内国際交流協会にポスター掲示・ちらし設置依頼、ホームページ、フェイスブック

⑥ 受講者の総数 21 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

(出身・国籍別内訳

中国…9人、ベトナム…1人、フィリピン…7人、アイルランド…1人、スコットランド…1人、ブラジル…2人)

⑦ 開催時間数(回数)【通学】30 時間 (全 15 回)

【通信】30 時間 (全 15 回)

⑧ 日本語教室の具体的内容

【通学コース】

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
1	8月4日 15:00 ~ 17:00	2時間	6人	中国・中国語(1人)、 ベトナム・ベトナム語 (1人)、フィリピン・ タガログ語(4人)	教授者1人 補助者2人	日本の紹介を通して、自国の紹介ができるようにする。日本の県名や地方区分について学習する。 オリジナル教

						材使用
2	8月18日 15:00 ～ 17:00	2時間	7人	中国・中国語(1人)、 フィリピン・タガログ 語(4人)、アイルラン ド・英語(1人)、スコ ットランド・英語(1 人)	教授者1人 補助者1人	値段の言い方 を学習し、買 物の時に使う 会話を実践練 習する。 ジェイブリッ ジ使用
3	8月25日 15:00 ～ 17:00	2時間	10人	中国・中国語(3人)、 ベトナム・ベトナム語 (1人)、フィリピン・ タガログ語(4人)、ア イルランド・英語(1 人)、スコットランド・ 英語(1人)	教授者2人 補助者4人	町でよく見る 交通標識につ いて学習す る。いろい ろな乗り物の名 前を学習す る。 オリジナル教 材使用
4	9月1日 15:00 ～ 17:00	2時間	5人	中国・中国語(2人)、 ベトナム・ベトナム語 (1人)、アイルラン ド・英語(1人)、スコ ットランド・英語(1 人)	教授者1人 補助者1人	位置を表す単 語を学習し、 場所の説明が できるように する。 ジェイブリッ ジ使用
5	9月8日 15:00 ～ 17:00	2時間	4人	中国・中国語(2人)、 ベトナム・ベトナム語 (1人)、アイルラン ド・英語(1人)	教授者1人 補助者1人	日常よく使う 動詞とその過 去表現を学習 する。頻度を 表す副詞を学 習し、自身の 生活について 話す。 ジェイブリッ ジ・動詞カー ド使用
6	9月15日	2時間	4人	中国・中国語(2人)、	教授者2人	身近な法律家

	15:00 } 17:00			ベトナム・ベトナム語 (1人)、アイルランド・英語(1人)	補助者4人	として行政書士をお招きし、ビザの説明等を受ける。
7	9月22日 15:00 } 17:00	2時間	2人	中国・中国語(1人)、アイルランド・英語(1人)	教授者1人 補助者1人	誘いの表現を学習し、友達をイベントに誘えるようにする。 ジェイブリッジ使用
8	9月29日 15:00 } 17:00	2時間	3人	中国・中国語(1人)、ベトナム・ベトナム語(1人)、アイルランド・英語(1人)	教授者1人 補助者1人	い形容詞を使い、物や人の特徴を説明できるようにする。程度の副詞を学習する。 ジェイブリッジ・形容詞カード使用
9	10月6日 15:00 } 17:00	2時間	2人	中国・中国語(1人)、アイルランド・英語(1人)	教授者1人 補助者1人	な形容詞を使い、物や人の特徴を説明できるようにする。 ジェイブリッジ・形容詞カード使用
10	10月13日 15:00 } 17:00	2時間	3人	中国・中国語(1人)、ベトナム・ベトナム語(1人)、アイルランド・英語(1人)	教授者1人 補助者1人	い形容詞・な形容詞の過去形を学習し、昔のことについてお互いに質問する。

						ジェイブリッジ・形容詞カード使用
11	10月20日 15:00 } 17:00	2時間	2人	中国・中国語(1人)、 アイルランド・英語(1人)	教授者1人 補助者1人	「あげる・もらう・くれる」を学習し、それを使い今までに授受したプレゼントの話ができるようにする。 ジェイブリッジ使用
12	10月27日 15:00 } 17:00	2時間	4人	中国・中国語(4人)	教授者2人 補助者4人	年金・保険のことについて質問を交えながら説明を受ける。 ジェイブリッジ使用
13	11月10日 15:00 } 17:00	2時間	3人	中国・中国語(1人)、 ベトナム・ベトナム語(1人)、アイルランド・英語(1人)	教授者1人 補助者1人	「あります・います」を使い分け、位置を表す表現を使用しながら自分の部屋を説明する。 ジェイブリッジ使用
14	11月17日 15:00 } 17:00	2時間	2人	中国・中国語(2人)	教授者1人 補助者1人	助詞「に・から・まで」を使い旅行計画を作り、発表する。 ジェイブリッジ使用

15	11月24日 15:00 ～ 17:00	2時間	3人	中国・中国語(1人)、 ベトナム・ベトナム語 (1人)、アイルラン ド・英語(1人)	教授者1人 補助者1人	「～たい」を 使い、今後の 夢をお互いに 話す。辞書形 を学習し、自 身の趣味、好 きなことなど と絡めて発表 する。 ジェイブリッ ジ使用
----	-------------------------------	-----	----	---	----------------	--

【通信コース】

回	開催日時	時間数	参加 人数	国籍・母語(人)	教授者・補 助者人数	内容
1	8月4日 10:00 ～ 12:00	2時間	9人	中国・中国語5人、 ブラジル・ポルトガル 語2人、 フィリピン・タガログ 語2人	教授者1人	日本の紹介を 通して、自国 の紹介ができ るようにする。 日本の県 名や地方区分 について学習 する。 オリジナル教 材使用
2	8月18日 10:00 ～ 12:00	2時間	8人	中国・中国語4人、 ブラジル・ポルトガル 語2人、 フィリピン・タガログ 語2人	教授者1人	地震に関して の ニ ュ ー ス や、非常持ち 出し品などの 名 前 を 学 習 し、対策につ いて考える。 また自分の住 所・氏名を漢 字で書けるよ うに学 習 す る。

						オリジナル教材使用
3	8月25日 10:00 ～ 12:00	2時間	8人	中国・中国語4人、 ブラジル・ポルトガル語2人、 フィリピン・タガログ語2人	教授者1人	町でよく見る交通標識について学習する。いろいろな乗り物の名前を学習する。 オリジナル教材使用
4	9月1日 10:00 ～ 12:00	2時間	6人	中国・中国語4人、 ブラジル・ポルトガル語1人、 フィリピン・タガログ語1人	教授者1人	いろいろな病院名を学習し、自分で問診票が書けるように学習する。体調が悪いときに使う擬態語を学習する。 オリジナル教材使用
5	9月8日 10:00 ～ 12:00	2時間	7人	中国・中国語4人、 ブラジル・ポルトガル語2人、 フィリピン・タガログ語1人	教授者1人	日本の行事を学習し、自国の行事を紹介する。 オリジナル教材使用
6	9月15日 10:00 ～ 12:00	2時間	6人	中国・中国語4人、 ブラジル・ポルトガル語1人、 フィリピン・タガログ語1人	教授者1人	ごみの名称や地域でのごみの分類方法等を、実際に使用している分類表を使用して学習する。 オリジナル教材使用

						材使用
7	9 月 22 日 10:00 } 12:00	2 時間	7 人	中国・中国語 4 人、 ブラジル・ポルトガル語 1 人、 フィリピン・タガログ語 2 人	教授者 1 人	教科の名称を学習し、時間割表の見方を学習する。 オリジナル教材使用
8	9 月 29 日 10:00 } 12:00	2 時間	4 人	中国・中国語 2 人、 ブラジル・ポルトガル語 1 人、 フィリピン・タガログ語 1 人	教授者 1 人	日本の教育制度や学校行事を学習し、自国の学校について紹介する。 オリジナル教材使用
9	10 月 6 日 10:00 } 12:00	2 時間	4 人	中国・中国語 2 人、 ブラジル・ポルトガル語 1 人、 フィリピン・タガログ語 1 人	教授者 1 人	野菜の切り方や野菜の名称を学習する。 肉じゃがの作り方を学習し、自国の料理の作り方を紹介する。 オリジナル教材使用
10	10 月 13 日 10:00 } 12:00	2 時間	4 人	中国・中国語 2 人、 ブラジル・ポルトガル語 1 人、 フィリピン・タガログ語 1 人	教授者 1 人	スポーツの名称を学習し、やってみたいスポーツなどを考える。 オリジナル教材使用
11	10 月 20 日 10:00 } 12:00	2 時間	4 人	中国・中国語 2 人、 ブラジル・ポルトガル語 1 人、 フィリピン・タガログ	教授者 1 人	日本料理のすき焼きを通して材料の名称や調味料につ

				語 1 人		いて学 習 する。 オリジナル教材使用
1 2	10 月 27 日 10:00 } 12:00	2 時間	4 人	中国・中国語 2 人、 ブラジル・ポルトガル語 1 人、 フィリピン・タガログ語 1 人	教授者 1 人	香川県の観光地、特に紅葉が有名な場所を通して入園料などについて学習する。 オリジナル教材使用
1 3	11 月 10 日 10:00 } 12:00	2 時間	4 人	中国・中国語 2 人、 ブラジル・ポルトガル語 1 人、 フィリピン・タガログ語 1 人	教授者 1 人	尊敬語表現について学習する。会社でよく使う会話を学習する。 オリジナル教材使用
1 4	11 月 17 日 10:00 } 12:00	2 時間	3 人	中国・中国語 2 人、 ブラジル・ポルトガル語 1 人	教授者 1 人	謙譲語表現について学習する。電話番号の言い方を学習する。 オリジナル教材使用
1 5	11 月 24 日 10:00 } 12:00	2 時間	3 人	中国・中国語 2 人、 ブラジル・ポルトガル語 1 人	教授者 1 人	手紙・葉書に関する言葉を学習し、実際に宛名などが書けるようにする。 オリジナル教材使用

⑨ 特徴的な授業風景(2～3回分)

【通学】

●行政書士

9月15日、横関賢二行政書士を招いて、日本語講座受講生を対象に『外国人のための行政書士相談会』を開催した。受講生の在留資格に関する質問に、ていねいに答えていただいた。(資料2.参照)



横関行政書士(=写真奥右)の話を聞く受講生ら

●社会保険労務士

10月27日、寺主吉輝社会保険労務士を招いて、『外国人のための社会保険労務士相談会』を開催した。受講生に向けて、年金や保険についての説明をしていただいた。(資料3.参照)



寺主社会保険労務士(=写真左)の話を聞く受講生ら

【通信】

日本やまんのう町の暮らしに関する情報を基に作成したオリジナル教材(資料4.)を作成し、週に1回郵送。返送されたものを採点して再送した。

また、希望者には運転免許の対策や解説を日本語指導の観点から行った。

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

運転免許筆記試験合格…2人

② 学習者の習得状況

仕事で電話対応が必要な生徒は、敬語の学習からスタートし、現在、電話を受ける時の対応を学習している。実践になると、敬語表現の誤りや、間違った言い回しになることもある。

漢字を書けなかった学習者が、小学 1 年生で学習する漢字を覚え、書けるようになった。長男が 2 年生に進学する前に、2 年生の学習漢字を覚えられるよう学習中。書きより読みのほうが得意ようで、頻出の読み方は定着しているが、音読み、訓読み、どちらも暗記できているとはいいがたい。

親子で参加している 4 歳の女兒は、語彙が増えた。語彙が増えただけでなく、野菜や生活道具、色、料理など、使用する語彙に幅も生まれ、場面に応じて適切な語彙を運用できるようになった。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

1) 日本語が不自由な外国人にとって、日本語を学習する場だけでなく、外国人同士で会話したり、情報交換したりする憩いの場になっている。

2) 学習者同士でなく、行政書士や社会保険労務士との関係構築ができ、専門知識が必要になる場面で、外国人住民として自分で問題解決していく力づくりのきっかけになった。

3) 日本語の通信教育という新しい試みで、基盤となる仕組みづくりができた。また、日本語通信講座受講生らのデータが取れたので、通信教育事業を今後検討改善していく材料がそろった。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

外国から来て生活していく上で出てくる専門的な問題をどこに相談していいかわからない学習者に対し、地域の行政書士や社会保険労務士を招き相談会を設けたことで、これから心配事があつたときに身近に相談できる人がいるという安心感に繋がった。行政書士や社労士が自分たちと一緒に考えてくれ、専門家が自分たちの味方になってくれるというのは心強いことだと思う。行政書士や社労士の先生方も「同じ地域にいて外国人の相談は受けたことがなかったのでいい勉強になりました。今後の通訳は国際交流協会で派遣してくれませんか」という前向きな姿勢をいただいた。また通訳の方からも「法律用語は専門的な単語も多く、さらに勉強しなければと思った。」とこの事業をきっかけに協力体制の基盤がつくれた。離婚問題や永住許可申請などは個人情報でもあるので、信頼と安心が次につながっていくと考える。

⑤ 改善点、今後の課題について

まんのう町の外国人の人口規模、割合から考えると、外国人集住地域のような行政サ

ービスを実現するのは困難であり、“自分で解決する力を養うため、どういことを提供していけば生きていく力となるか”が日本語教育を通してこれから協会が考え、その学習の場を提供していく必要がある。

a. 現状

【通学】

現在、受講生が仕事の都合で毎週の受講ができていない。また、レベルにも差があり、N1受験予定者については取り出し授業を行った。

【通信】

10人の受講者のうち講座の15回を終えたのは、3人だった。ほかの受講生については、帰国のため中止が1名、その他は返送が止まっている。通信講座の期間は終了したので、指導は終了とする。

b. 今後の課題

【通学】

積み上げ式の授業形式を採っているので、生徒が欠席した場合、未修得内容となってしまった単元をどのようにフォローするのかを検討する必要がある。

【通信】

これまで文化庁の委託事業予算として切手代を計上していたので、受講生に金銭的負担はなかったが、今後通信講座を継続するためには切手代を誰が負担するのかを検討しなければならない。

c. 今後の活動予定, 展望

【通学】

日本語講座自体は、国際交流協会の事業として継続していく。授業内容も引き継ぐ。また、今回作成した教材は、製本し、今後繰り返し使えるようにして、学習内容の定着を図る。

【通信】

今年度は、一旦通信講座は終了とする。来年度以降については、検討していく。